

第3回先進的まちづくり大賞 国土交通大臣賞

取組名：長湫南部地区土地区画整理事業を契機とした継続的なエリアマネジメント

受賞者：長久手市（愛知県）

受賞理由：長湫（ながくて）南部地区は市の南部に位置し、昭和 60 年度に地権者代表と市がまちの未来を考えるまちづくり勉強会を設置し、平成 10～26 年度で土地区画整理事業を実施。まちづくりのゴールは整備完了時ではなく、スタートであるとして平成 21 年 4 月より土地区画整理組合が主体となり、里山みまわり（緑地等点検）、里山保全、ホタル飼育、生物保護等のエリアマネジメント活動を開始。同組合が解散後も活動を引き継いだ一般社団法人が中心となり、区域外の会員も加え、行政による適切な関与もあり、30 年の長きに渡って住民主体のまちづくりが継続していることが高く評価されました。

1. 地区の概要と課題

【地区の概要】

長湫南部地区は「歩くことが楽しくなる“まち”」をまちづくりコンセプトにかかげ、「緑をいかしたまちづくり」を土地区画整理事業により展開してきました。



【まちづくりのゴールを迎える上での課題】

- 1) 組合解散に際し、これまで醸成されてきたまちづくり理念をどのように継承していくか。
- 2) まちづくりをサポートする人材の育成を、どのように継続していくか。
- 3) 施設の老朽化や、樹木や花の成長に対し、維持管理をどのように実施していくか。

緑の成長・雑草の繁茂

施設の老朽化（写真は井戸）

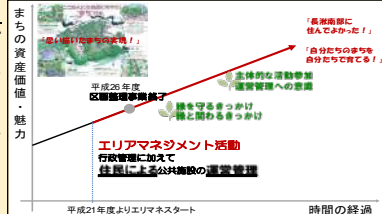
2. 取組概要

【緑豊かなまちづくりの追求（整備完了）】

組合役員らが中心となり、まちづくりコンセプト等に即し、ひたすら「緑豊かなまちづくり」を進めてきました。

【エリアマネジメントへの展開（整備完了がスタート）】

まちづくりの整備完了がゴールではなく、整備完了時がスタートであるとして「地域が緑を守って行くきっかけづくり・地域と緑が関わる機会づくり」をスローガンに、平成 21 年 4 月から、組合が主体のエリアマネジメント活動が開始されました。



【活動の具体例】



3. 発現した成果

【事業完了（駅に近いよりも、緑に近いまち）】



区画整理施行者である長湫南部土地区画整理組合は、平成 27 年 3 月 10 日に解散しました。

組合が仕上げたまちづくりは、名古屋市側の緑地と一体的な緑地空間を創出しましたが、緑を生かしたまちづくりは「駅に近いよりも、緑に近いまち」として注目されています。

【エリアマネジメント組織の設立】

平成 21 年から組合が展開してきたエリアマネジメント活動を継承し、一層のまちづくり活動を展開することを目的として「一般社団法人長久手みなみ里山クラブ」が、組合解散に先立ち平成 26 年 12 月に設立されました。



4. 今後の展開他

【長久手みなみ里山クラブの展開】

1) 事業概要

- ・健全で持続可能な里山環境の維持管理
- ・生物の育成及び生育環境の維持・保全
- ・自然を体感する機会の提供
- ・住民参加と地域ニーズへの対応

2) 基本理念

- ・里山を守ろう ー緑地維持管理ー
- ・生き物を守ろう ー生物保護活動ー
- ・里山にふれよう ー里山保全活動ー
- ・まちの声を聞こう ー地域連携ー



【区画整理組合役員への感謝】

本地区のまちづくりは行政のマネジメント以外に、組合役員の尽力、地権者の理解をもって成果に至ったものです。

特に、組合役員がまちづくりの完遂に向け、心血を注いでくださったことへの感謝を、あらためて申し上げます。

